

社会福祉法人スプラウトユニティー

虹の子保育園及び虹の子保育園本園分園

25年度事業計画

はじめに

待機児童増であるにもかかわらず、国の予算が足りないことから、今後の保育園の運営をどのようにしていくか、国が審議中で不安定ですが、国の動向に合わせながら、地域との密着も図り、子どもの安全と成長発達に寄与していきます。

○子どもたちが自分の気持ちをいっぱい出して仲間と楽しく過ごせるように、しっかりと子どもの気持ちを受け止め、寄り添い、環境を整え活動を支えていきます。

○保護者がより一層安心して働けるように細やかな心配りを欠かさず、又、子どもたちの楽しく過ごしている状況が保護者に伝わるように昨年度同様ホームページ管理や写真等園内で掲示を行っていきます。

○保護者の悩みを聞ける場、子育て支援を充実させます。

○地域との交流、中・高校生の職場体験の受け入れも積極的に行います。

○国、県、市の今後の保育の動向を職員、保護者に速やかに伝え、共に知恵を出し合い、地域の核としての保育園の役割を考えていきます。

1 施設運営

(1) 児童の処置

ア クラス編成 本園

クラス名	年齢	保育士数	園児数	備考
ひよこ	0歳	3	8	1名余裕あり
あひる	1歳	2	11	
りす	2歳	2	10	
ぱんだ	3歳	1	11	
きりん	4歳	1	10	
ぞう	5歳		17	
合計		9	67	

クラス編成 分園

クラス名	年齢	保育士数	園児数	備考
あひる	1歳	1	3	3名余裕あり
りす	2歳	2	6	
ぱんだ	3歳	1	7	
きりん	4歳		7	
ぞう	5歳		8	
合計		4	31	

イ 月別保育予定日数(本園・分園共通)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 293日
25	24	25	26	27	23	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
26	24	23	22	23	25	

ウ 健康管理

子ども一人ひとりの発育発達の個人差(個性)を考慮しながら、健康な生活習慣を身につけ、豊かな成長が遂げられるよう積極的に次の点に取り組めます。

- [1] 日常養護・健康管理
- [2] 病気の予防と早期発見
- [3] 安全と事故防止
- [4] 健康増進と保健指導
- [5] 環境衛生

年間保健行事

保健行事	対象年齢
内科検診	全園児(年2回)
歯科検診	全園児(年1回)
蟯虫検査	全園児(年1回)
尿検査	4歳児以上(年1回)

エ 保育指針

情緒の安定と発達をはかり、豊かな情操を養い、よく考え判断し、創造性豊かな、心身ともに健康な子どもを育てる。

オ 各組の保育目標

ぞう組(5歳児)の年間目標

生活に必要な習慣や態度を身につける。また、仲間同士で共通の目当てを持ち活動する。自分の意見を主張するが『もしも自分が～だったら……』と相手の立場になって(仮定し)考えることが出来る。

きりん組(4歳児)の年間目標

友だちや仲間の遊びを通して、他人の存在や立場を知り、それぞれの違いをどう調整したらよいか学んでゆく。

けんかや様々な葛藤を通して、相手の意図や気持ちに気づき、自分を振り返り、違いを認められる。

ぱんだ組(3歳児)の年間目標

『何でも自分でやれる』つもりになり、意欲的に活動し、主体が輝き出す。

りす組(2歳児)の年間目標

『自分で』と訴えたり『やって』と求めたりするが、保育者に援助してもらいながら、自分でしようとする。そして自尊心が芽生える。

思い通りにならない時など、だだこねや激しい感情表出を受け止めてもらいながら、自分自身で気持ちを静められる(自律のめばえ)

あひる組(1歳児)の年間目標

簡単な身の回り(食事・排せつ・着脱)のことを『自分で』と要求する。

発語の愉しみを味わい、一語文や二語文など言葉を使うことで人とコミュニケーションできることを知る。

ひよこ組(0歳児)の年間目標

家庭との連携を密にして、ひとりひとりの生活リズムを安定させ機嫌よく過ごす。スキンシップやふれあい遊びを楽しみ、よく笑い、人と一緒にいる喜びを味わう。

カ 主な行事予定

4月	始業式、内科検診
5月	春の遠足、保育参観
6月	バザー、そうめん流し、歯科検診
7月	プール開き、お泊り保育
8月	納涼祭
9月	交通安全教室、秋の遠足、敬老会
10月	運動会、大山登山(5歳児)、内科検診
11月	お芋掘り、お店屋さんごっこ
12月	おもちつき、クリスマス会
1月	鏡開き
2月	豆まき、発表会、個人面談
3月	ひなまつり、お別れ会、卒園式
隔月行事	誕生日会

キ 食事

[1] 目標 しっかりと食事を食べ、食生活に必要な決まりを守り、食事を楽しむ心と食材を作る人に感謝する気持ちを育てみんなで食べる楽しみを身につける。

配慮事項 ・薄味、和風の献立に心掛ける。

- ・旬の食材を使った献立づくりを心掛ける
- ・見た目においしく、食べておいしい食事づくりを心掛ける
- ・保護者との連携を密にする。

[2] 栄養管理
毎日の献立の栄養計算、又、虹の子保育園の献立をファイルに保存していく。

[3] 食育
毎月 月 予定献立表の配布をする。
食を考える 0歳児は月2回の離乳食会議にて子供の食事状況、離乳食の移行時期、献立について、園長・主任・栄養士・調理員が話し合う。また、月2回の給食会議にて、献立についての感想や反省、改善などや提供された食事への感想・反省、改善案などを出し合い、よりおいしい食事づくりへ取り組んでいきたい。また、食育を含め食全般についての勉強、話し合いの場としていきたい。

展示食 玄関に、その日の給食の写真を展示する

[4] 衛生管理
○衛生チェック表を作成し、毎日衛生項目に沿って確認している。
○調理人の細菌検査(毎月1回)調理室・乳児調理室の掃除、ワゴン清掃(毎日)、冷蔵庫の消毒、食器洗浄後熱風庫にて保管原材料・調理済み食品の保存(2週間)をしていく。

[5] 栄養給与目標(給食・おやつでとりたい栄養量の目安)

	エネルギー kcal	蛋白質 g	脂肪 g	カルシウム mg	鉄分 mg	ビタミン A μ g	B1 mg	B2 mg	C mg
3歳未満児	500	20	17	200	2	175	0.22	0.22	18
3歳以上児	580	20	17	200	2.3	190	0.3	0.4	23

[6] 離乳食に関して
「離乳の基本」が改定され、個人差を考え、無理のない離乳を進めていく。1歳児の食事に関しては、離乳食(完了食)後、間もないので7カ月までは、そのまま離乳食(完了食)を準備し、さらに充実させていく。アレルギー児の「食育除去」も、それぞれの子どもの症状により対応し、必要により除去解除できるようにしていく。

<離乳食のすすめ方>

- ①食べやすい形で…子どもの状態にふさわしい形で与える。手づかみ食べを十分にし、噛める子どもに育てる。
- ②栄養と食品のバランスを考えて…準備期は別として、ある程度進んだら離乳食の中に穀類・タンパク質類・野菜の三種類を合わせる。アレルギーを起こしやすい卵については、中期食迄使用しない献立にする。
- ③薄味で…調味料をできるだけ使わず、素材の味を生かして調理する。

ク 安全管理
非常災害の避難訓練(毎月1回)

(2) 職員の処遇

ア 職員構成

園	長	1名
	主任保育士	2名
	保育士	9名
	調理員	5名 (栄養士含む)
	看護師	名
	事務員	3名
	嘱託医	2名
	非常勤	14名

- イ 健康管理
 - 健康診断 年1回
 - 細菌検査 年1回 給食、0歳児調乳担当のみ毎月1回

- ウ 職員会議
 - ・職員全体会議年間6回
 - ・保育会議週1回(給食会議月1回含む)

- エ 研修計画
 - ・職場研修年1回全職員
 - ・主任研修年1回
 - ・園長研修年2回

- オ 退職・福利厚生
 - ・福祉医療機構退職共済制度加入

2 施設管理

(1) 事務関係

- ア 会計事務、管理事務
 - 会計事務は園長が行う。小口出納については出納係が行うものとする。
 - 管理事務については園長が行う。

- イ 児童処遇事務(保育、給食、健康管理)
 - 園長と主任保育士・栄養士とが連携して行う。

(2) 設備関係

- ア 固定遊具の設備点検(点検票に基づき月1回点検)

- イ 施設内設備点検(点検票に基づき月1回点検)

(3) 備品関係

(4) 災害対策

- ア 避難訓練 毎月1回

- イ 防災設備の点検委託 年2回(内、届出1回)

- ウ 非常食糧の備蓄
 - (全園児数+全職員数)×3食×(1日~3日)分

3 保護者にむけて

(1) 保育への理解と協力の促進

ア 保育参観

保育参観はクラスの保育の様子を参観後、懇談の時を持ち、2月には個人面談をします。

イ 保護者会

年2回予定し、各グループ毎に懇談します。

ウ お知らせ

- ・園だより毎月1日に発行
- ・学年だより毎月1日に発行
- ・献立表毎月1回発行

4 地域社会との連携

お誕生会、バザー、運動会、発表会など自治会の方々を招待し交流をはかる。